

- ① 飯尾宗祇 山手町1番 佐藤公園内
- ② 上原朝城 高塔山万葉植物園
- ③ 久保田 瑞一 片山2丁目 二島公民館
- ④ 久保田 せきの 片山2丁目 二島公民館
- ⑤ 河野 静雲 修多羅3丁目 高野山東南院
- ⑥ 火野 葦平 山手町6番 安養寺
- ⑦ 火野 葦平 高塔山南側山腹
- ⑧ 松尾 芭蕉 修多羅3丁目 高野山東南院
- ⑨ 松尾 芭蕉 東二島2丁目 日吉神社下バス停横
- ⑩ 万葉集 本町1丁目 古賀薬局前

火野葦平旧居「河伯洞」
白山1丁目

火野葦平資料館
本町3丁目 若松市民会館内



資料館には、復元した書齋のほか、原稿、書簡、日記、従軍手帳など葦平の遺品が展示されており、激動の昭和を生きた葦平の生涯をうかがい知ることができる。



火野葦平は、遠賀郡若松町（現在の北九州市若松区）に生まれる。昭和6年、出征中に「糞尿譚」で芥川賞を受賞、軍報道部時代に書いた兵隊三部作により、一躍国民作家として脚光をあびる。
葦平は、この「河伯洞」で昭和15年から35年までの大半を過ごし「花と龍」をはじめ、多くの作品を生み出した。「河伯洞」とは河童の棲む家という意味で、葦平が河童をこよなく愛したことから名付けられた。

火野葦平旧居「河伯洞」
火野葦平資料館
火野葦平（1906～1960）